

平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大 阪 市 立 横 堤 中 学 校

生徒数

104

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	31.55	27.87	38.09	52.10		92.15	7.96	188.09	20.04	41.46
大阪市	29.29	27.51	40.96	51.76	411.55	83.43	8.09	191.49	20.42	41.25
全国	28.91	27.46	43.06	51.93	391.72	86.24	8.03	194.69	20.59	42.13
女子	27.25	21.72	43.24	47.65		51.89	9.10	165.24	11.31	47.08
大阪市	24.15	23.41	44.39	46.77	303.34	57.97	8.92	167.47	12.97	49.20
全国	23.75	23.48	45.46	46.60	288.51	58.80	8.83	168.28	12.85	49.56

結果の概要

男女とも、体力合計点で全国平均を下回り、男子では0.67点下回り、女子では2.48点下回った。種目別で見ると、男子では握力・上体起こし・反復横とび・20mシャトルラン、50m走の5種目、女子では握力・反復横とびの2種目で全国平均を上回った。また、前年度の本校の結果と比較すると、男子では体力合計点で0.98点上回り、種目別では上体起こし、立ち幅とびの4種目で上回ったが、残りの4種目で下回った。女子では体力合計点で0.04点上回り、種目別では握力・反復横とび・50m・ハンドボール投げの4種目で上回ったが、残りの4種目で下回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

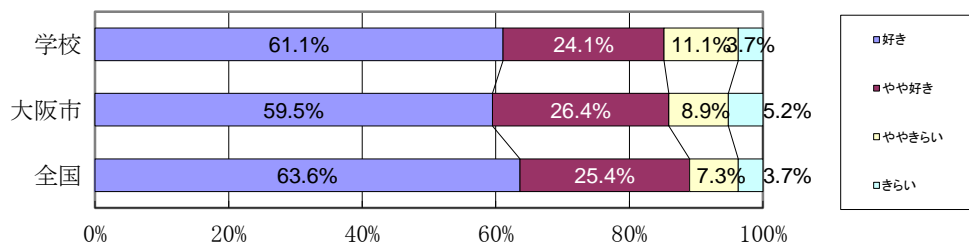
昨年度ほとんどの種目で全国平均を下回ったため、体育授業時の補強運動で跳躍力や瞬発力を高めるトレーニングを取り入れた結果、男子では50m走、反復横とびの記録が向上し全国平均を上回ることができた。また、体力総合点で全国平均に近づいた。運動に対する興味関心を高めるためにトップアスリートを招いての特別授業、大学教授によるスポーツ講習会、ダンス講師による体験授業に継続的に取り組み、技能の習得や体を動かす楽しさを学ぶ機会を増やすことができた。今後は、体育授業時の補強運動の工夫、運動会や球技大会、体育的な行事に積極的に取り組み、基礎体力の向上と体幹を鍛え体の正しい動きの習得を目指していく。また、運動に対する生徒の意識は全国平均と比べて低い数値が続いているため、専門的な指導者やトップアスリートから学ぶ取組を継続し、運動に対する学習意欲を高めるとともに、将来に夢や希望を持てる生徒の育成に努める。

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
1	運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか
2	自分の体力に自信がありますか。
3	あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものですか。
4	中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。

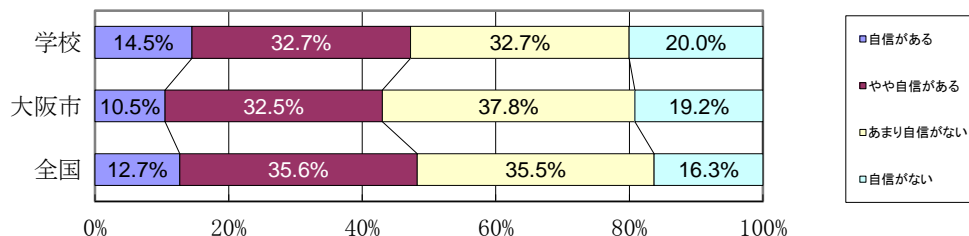
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



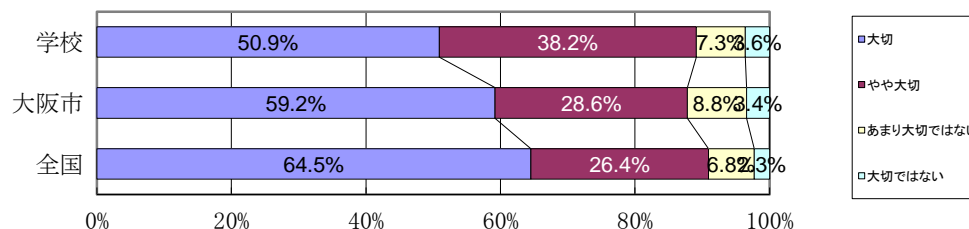
2

自分の体力に自信がありますか。



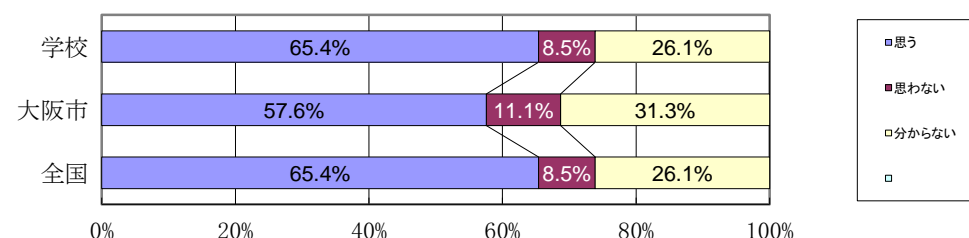
3

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものですか。



4

中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



成果と課題

自分の体力に自信がありますかの項目において、「ある」と答えた生徒が14.5%と全国平均を1.8%上回った。これまで保健体育の授業で基礎体力の向上を目指した取組や生徒の運動やスポーツに関わるための工夫に取り組んできた成果がうかがえる。しかし、スポーツをすることは好きですかの項目において、「好き」と答えた生徒が61.1%と全国平均を2.5%下回り、運動やスポーツは「大切」と答える生徒が50.9%と全国平均を13.6%下回った。運動・スポーツに対する関心・意欲が低いことが課題としておりあげられる。

今後の取組

運動やスポーツを楽しむことができるよう、保健体育の授業や運動会や球技大会、スポーツ大会、トップアスリート等を招いての体験授業の取組を通して生徒の関心・意欲・態度を高めていけるようにする。

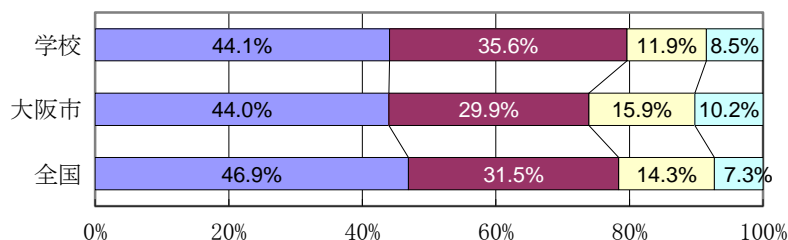
運動やスポーツについて（女子）

質問
番号

質問事項

1

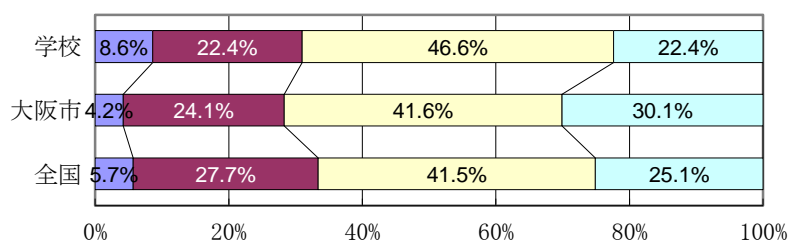
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



□好き
■やや好き
□ややきらい
□きらい

2

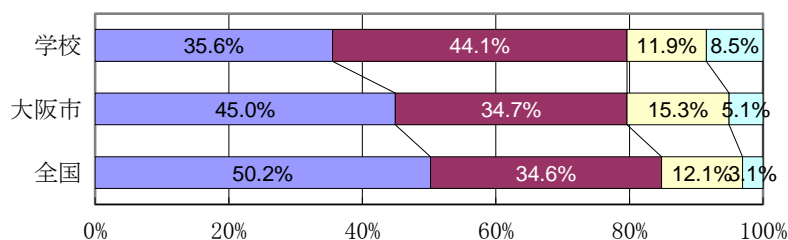
自分の体力に自信がありますか。



□自信がある
■やや自信がある
□あまり自信がない
□自信がない

3

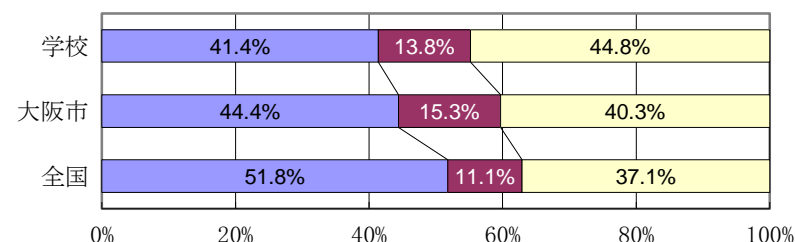
あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものですか。



□大切
■やや大切
□あまり大切ではない
□大切ではない

4

中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



□思う
■思わない
□分からない
□

成果と課題

自分の体力に自信がありますかの項目において、「ある」と答えた生徒が8.6%と全国平均を3.1%上回った。これまで保健体育の授業で基礎体力の向上を目指した取組や生徒の運動やスポーツに関わるための工夫に取り組んできた成果がうかがえる。しかし、スポーツをすることは好きですかの項目において、「好き」と答えた生徒が44.1%と全国平均を2.8%下回り、運動やスポーツは「大切」と答える生徒が35.6%と全国平均を14.6%下回った。また、卒業後自主的に運動やスポーツする時間を持ちたいと思う生徒が41.4%と全国平均を10.4%下回った。運動・スポーツに対する関心・意欲が低いことが課題としておりあげられる。

今後の取組

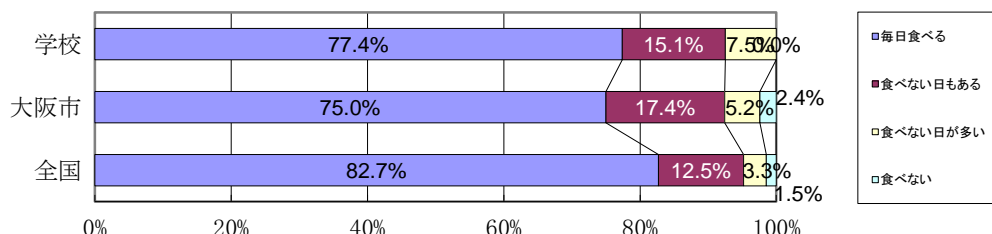
運動やスポーツを楽しむことができるよう、保健体育の授業や運動会や球技大会、スポーツ大会、トップアスリート等を招いての体験授業の取組を通して生徒の関心・意欲・態度を高めていけるようにする。

ふだんの生活について（男子）

質問 番号 質問事項

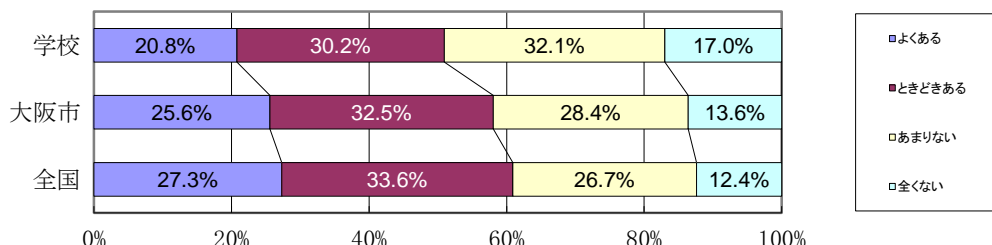
6

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



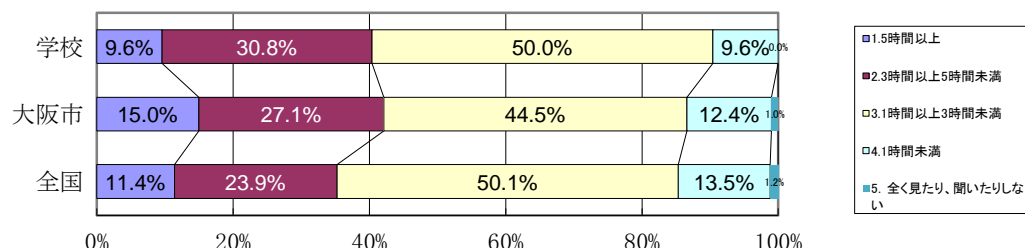
12

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことを勧められることがありますか



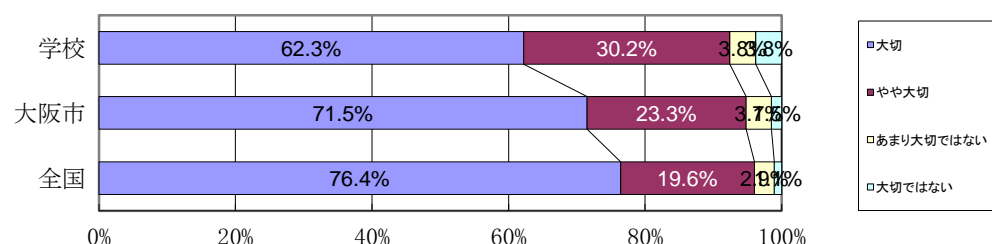
9

ふだんの平日(月～金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。(テレビゲームを含む)



13

あなたが健康でいるために次の3つは、どのくらい大切だと考えていますか。
Q13.運動を行うこと。



成果と課題

朝食は毎日食べますか、の項目において「毎日食べる」と答えた生徒が77.4%と全国平均を5.3%下回った。調査後の9月と2月に「朝ごはんウイーク」を設定し、改善に取り組んだ結果、90%以上の生徒が朝食を毎日食べたと答え取組の成果が表れている。今後「朝ごはんウイーク」の取組期間中だけでなく毎日朝食を食べる生徒の割合を高めなければならない。

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことを勧められることがありますか、の項目において「よくある」「時々ある」と答えた生徒が50.9%と全国平均を6.7%下回り、健康でいるために運動を行うことが大切だと思う、の項目において「大切」と答えた生徒が62.3%と全国平均を14.1%下回った。また、平日にテレビを見たりテレビゲームをしている時間が「3時間以上ある」と答えた生徒が40.5%と全国平均を5.2%上回ってしまった。健康でいるために運動やスポーツをすること、食事をしっかり摂ることが大切であると思う生徒が全国平均に比べ低いことが課題としてあげられる。

今後の取組

「朝ごはんウイーク」の取組を継続的に進めるとともに、生徒会活動を中心に健康でいること、スポーツを楽しむために「食事を摂ることの大切さ」について、生徒と保護者の意識を高めていかなければならない。

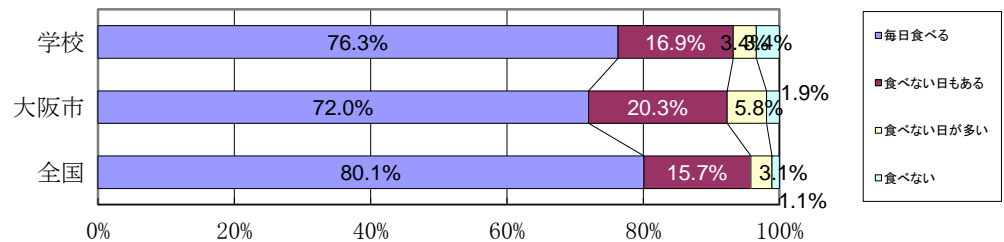
テレビゲームやスマートフォンを使ったゲーム等に時間を費やす割合を減少させることができるよう、生徒会を中心とした呼びかけや取組を検討し、実施していく。

ふだんの生活について（女子）

質問 番号 質問事項

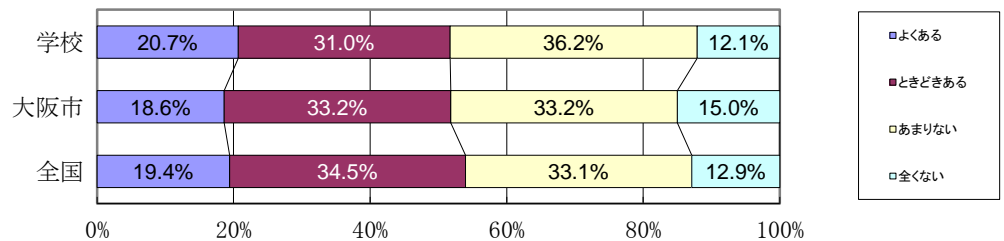
6

朝食は毎日食べますか
(学校が休みの日も含める)



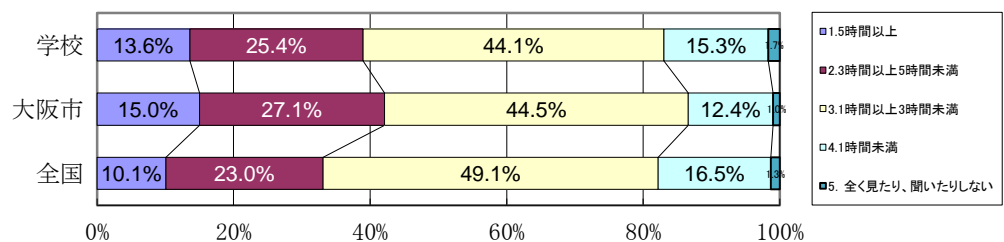
12

家の人から運動やスポーツ
を積極的に行うことを勧められ
ることがありますか



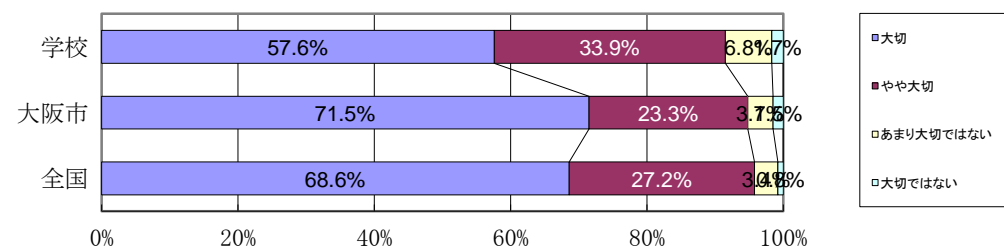
9

ふだんの平日(月～金曜日)
について聞きます。1日にどれ
くらいの時間、テレビやビデ
オ・DVDを見たり、聞いたりし
ますか。(テレビゲームを含む)



13

あなたが健康でいるために次
の3つは、どのくらい大切だと
考えていますか。
Q13.運動を行うこと。



成果と課題

朝食は毎日食べますか、という項目において「毎日食べる」答えた生徒が76.3%と全国平均を3.8%下回った。調査後の9月と2月に「朝ごはんウィーク」を設定し、改善に取り組んだ結果90%以上の生徒が朝食を毎日食べたと答え、取組の成果が表れてきている。今後「朝ごはんウィーク」の取組期間中だけでなく毎日朝食を食べる生徒の割合を高めなければならない。

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことを勧められることがありますか、の項目において「よくある」「時々ある」と答えた生徒が51.7%と全国平均を9.2%下回り、健康でいるために運動を行うことが大切だと思う、の項目において「大切」と答えた生徒が57.6%と全国平均を11.0%下回った。また、平日にテレビを見たりテレビゲームをしている時間が「3時間以上ある」と答えた生徒が39.0%と全国平均を5.9%上回ってしまった。健康でいるために運動やスポーツをすること、食事をしっかり摂ることが大切であると思う生徒が全国平均に比べ低いことが課題としてあげられる。

今後の取組

「朝ごはんウィーク」の取組を継続的に進めるとともに、生徒会活動を中心に健康でいるために、スポーツを楽しむために「食事を摂ることの大切さ」について、生徒と保護者の意識を高めていかなければならない。

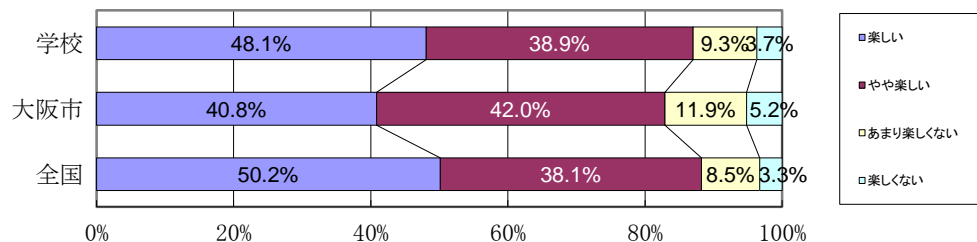
テレビゲームやスマートフォンを使ったゲーム等に時間を費やす割合を減少させることができるよう、生徒会を中心とした呼びかけや取組を検討し、実施していく。

保健体育の授業について（男子）

質問 番号 質問事項

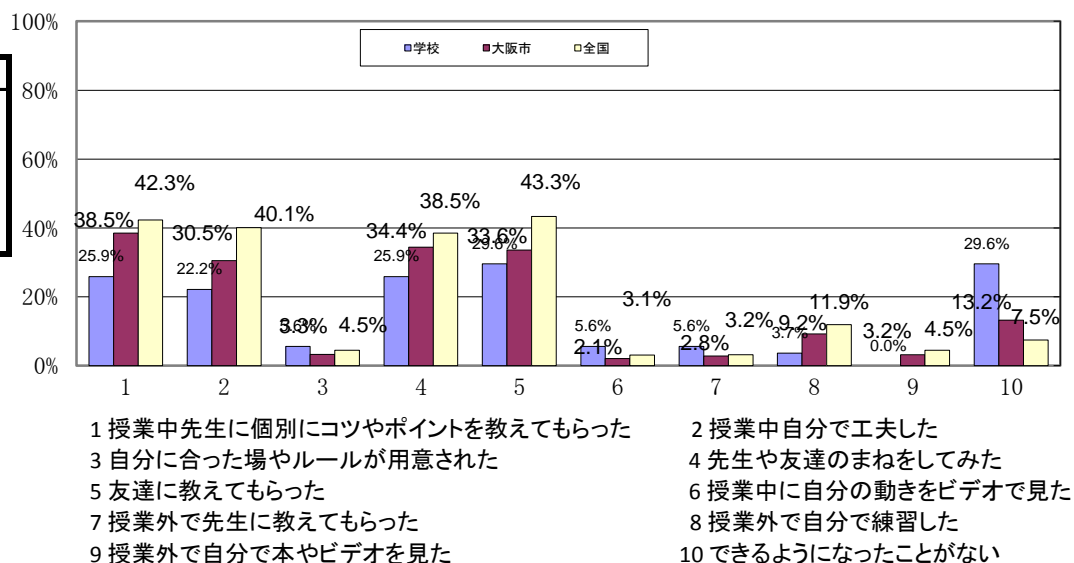
16

保健体育の授業は楽しいですか



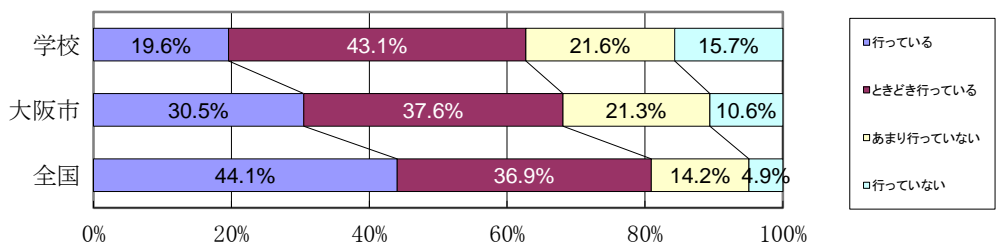
21

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



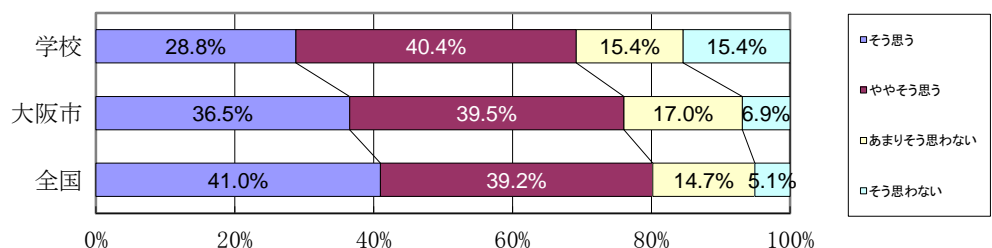
20

ふだんの保健体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか。



23

今、保健体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



成果と課題

保健体育の授業は「楽しい」と答えた生徒の割合が48.1%と全国平均を2.1%下回った。「やや楽しい」と答えた生徒の割合が38.9%と全国平均を0.8%上回った。授業で友達同士やチームの中で話し合う活動を「行っている」と答えた生徒の割合が19.6%と全国平均を24.5%下回り、授業で学習している内容は「将来の役に立つと思う」生徒の割合が28.8%と全国平均を12.2%下回った。保健体育の授業で生徒自らが目標を持ち授業を振り返りながら仲間とともに「できるようになった」という達成感を味わうことができ、体育の授業が「楽しい」と答える生徒の割合を高めるため、授業改善に努めなければならない。

今後の取組

授業を楽しめるように、体ほぐし運動から基礎体力の向上と体幹を鍛え体の正しい動きの習得に向けた補強運動や授業内容、進め方を工夫し、運動に対する生徒の興味・関心を高める授業を実施する。

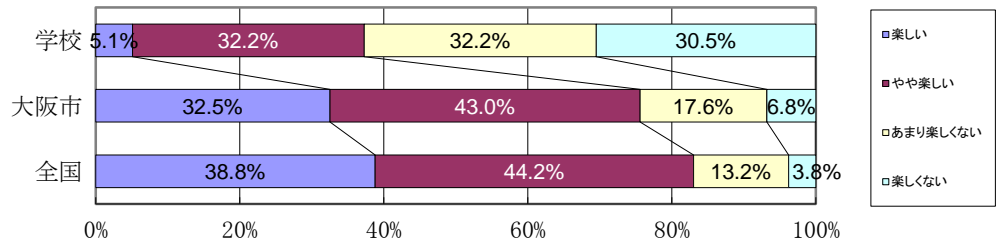
授業における生徒の目標の設定と授業の振り返りを行い、仲間とともに運動に取り組み「できなかったことができるようになった」という達成感を味わうことができるようにする。そのための資料を作成しICT機器の活用を通して、授業中により多くの良い見本を示しながら、個別のコツやポイントを教え、生徒自らが考え、工夫していくことできるような授業を実施する。

保健体育の授業について（女子）

質問 番号 質問事項

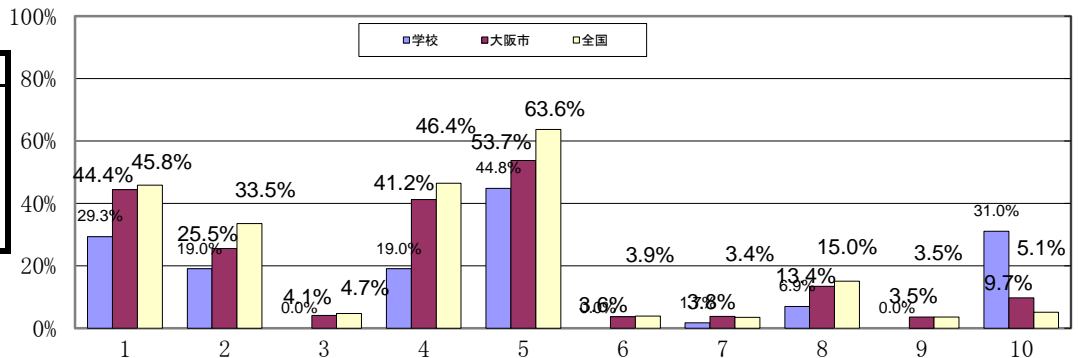
16

保健体育の授業は楽しい
ですか



21

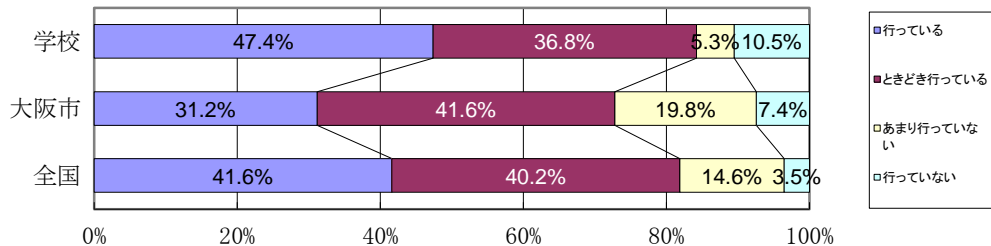
これまでの体育の授業で
「できなかったことができる
ようになった」きっかけ、理
由はどのようなものがありま
したか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

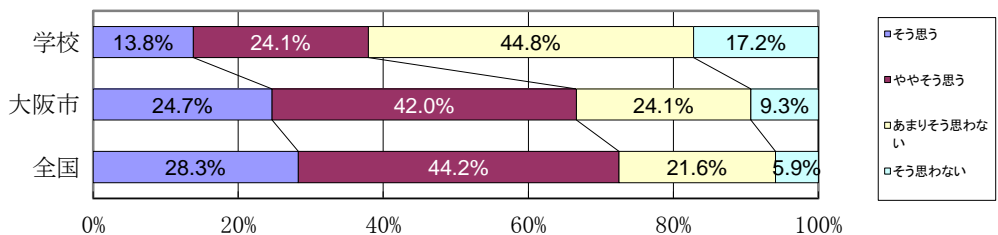
20

ふだんの保健体育の授業
では、友達同士やチームの
中で話し合う活動を行って
いますか。



23

今、体育の授業で学習して
いる内容は、あなたの将来
に役に立つと思いますか。



成果と課題

授業で友達同士やチームの中で話し合う活動を「行っている」と答えた生徒の割合が47.4%と全国平均を5.8%上回り、保健体育の授業でプロのダンス指導者を講師に招いて、運動に関する興味関心を高めるとともに健康・体力の保持増進を目指して取り組んできた成果がうかがえる。保健体育の授業は「楽しい」と答えた生徒の割合が5.1%と全国平均を33.7%と大きく下回った。「やや楽しい」と答えた生徒の割合が32.2%と全国平均を10.0%下回った。授業で学習している内容は「将来の役に立つと思う」と答えた生徒の割合が13.8%と全国平均を14.5%下回った。保健体育の授業で生徒自らが目標を持ち授業を振り返りながら仲間とともに「できるようになった」という達成感を味わうことができ、体育の授業が「楽しい」と答える生徒の割合を高めるため、授業改善に努めなければならない。

今後の取組

授業を楽しめるように、体ほぐし運動から基礎体力の向上と体幹を鍛え体の正しい動きの習得に向けた補強運動や授業内容、進め方を工夫し、運動に対する生徒の興味・関心を高める授業を実施する。

授業における生徒の目標の設定と授業の振り返りを行い、仲間とともに運動に取り組み「できなかったことができるようになった」という達成感を味わうことができるようにする。そのための資料を作成しICT機器の活用を通して、授業中により多くの良い見本を示しながら個別のコツやポイントを教え、生徒自らが考え、工夫していくことのできるような授業を実施する。

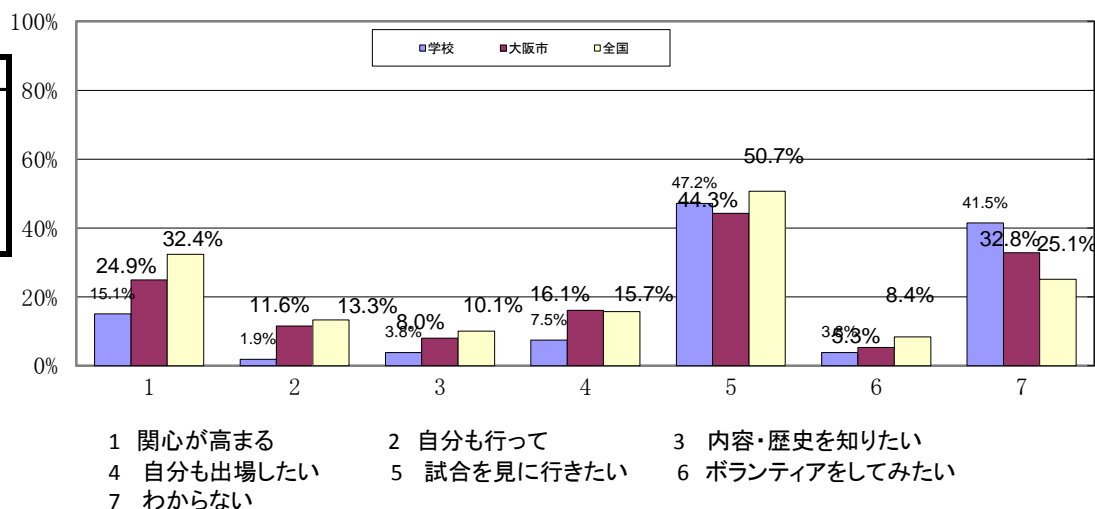
その他（男子）

質問
番号

質問事項

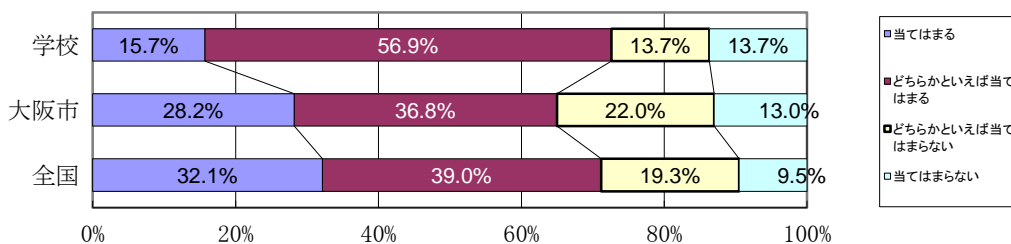
29

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



32

次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。
自分には、よいところがあると思う。



成果と課題

オリンピック・パラリンピックへの気持ちにおいて、興味・関心・意欲・参加の全ての項目において、全国平均を下回った。運動やスポーツに対する興味・関心・意欲の面において、保健体育や学校生活の中での取組を工夫し高めていかなければならない。

今後の取組

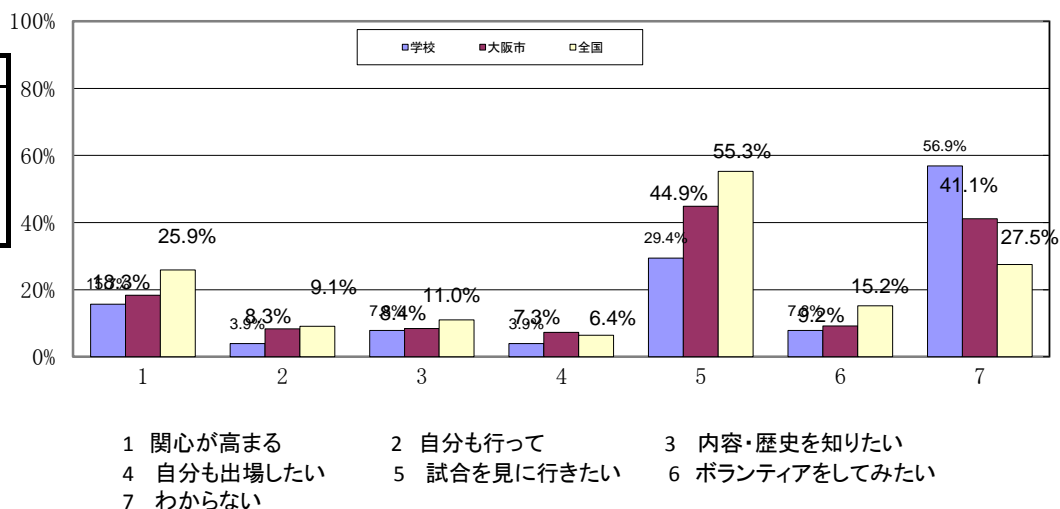
自らがオリンピックに出場したい、試合を見に行きたいという生徒の意識を高めるため、トップアスリートを招いての体験授業を継続して行う。また、保健体育の授業や人権学習における取組を通して、オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を高めていく。

その他（女子）

質問 番号	質問事項
----------	------

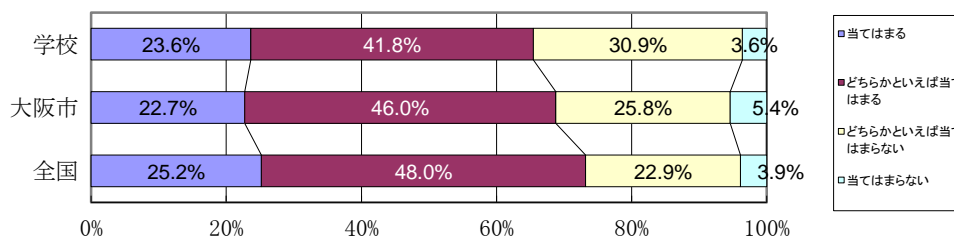
29

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



31

難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。



成果と課題

オリンピック・パラリンピックへの気持ちにおいて、興味・関心・意欲・参加の全ての項目において、全国平均を下回った。運動やスポーツに対する興味・関心・意欲の面において、保健体育や学校生活の中での取組を工夫し高めていかなければならない。

今後の取組

自らがオリンピックに出場したい、試合を見に行きたいという生徒の意識を高めるため、トップアスリートを招いての体験授業を継続して行う。また、保健体育の授業や人権学習における取組を通して、オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を高めていく。